

令和3年度第1回野洲市社会教育委員会議（概要報告）

会議日時	令和3年8月5日（木曜日） 午前9時30分～11時30分
会議場所	市役所本館 第1委員会室
出席者	<p>社会教育委員</p> <p>出席：高木委員長、水島副委員長、中出委員、八木委員、駒井委員、浅野委員、小澤委員</p> <p>欠席：吉田委員、白石委員</p> <p>事務局：西村教育長、吉川教育部長、北脇教育部次長、井上教育部次長（学校教育担当）、進藤教育部次長（文化財担当）、宇都宮図書館長、山本人権施策推進課長、西村こども課長、小山スポーツ施設管理室長、中川文化ホール館長、井狩生涯学習スポーツ課長、吉川生涯学習スポーツ主席参事、岡山生涯学習スポーツ課員</p>
傍聴人	なし

1. 開会

2. 教育長あいさつ

3. 自己紹介

4. 議事

（主な意見等）

（1）令和3年度 野洲市の教育方針について

○事務局（教育長）より資料2「令和3年度 野洲市の教育方針」をもとに説明。

- ・地域の子どもを学校と地域の皆さんとともに育てていく。家庭や地域は子どもたちが社会性をとらえていく大きな場と認識しており、世代を超えた色々な人たちの中で、子どもたちが育つ場であればと思っている。
- ・地域の中で活躍される方を育て、その方々をまちづくりにつなげていくのが、大きな課題だと思っている。

（2）教育委員会各課事業計画について

○市内の学校のプールの老朽化問題と余熱利用施設の温水プールの活用について

- ・学校授業における余熱利用施設の温水プールの活用と集約化について、移動時間や予算的な問題について、より効果的・有効的な活用方法を検討する必要がある。
- ・「どういう形で集約化していくのか」ということで各学校のご意見をいただいた中で、集約化に向けた検討を進めていく。
- ・学びの場の保障をどういうふうを考え、これから子どもたちが利用するうえで、野洲のスタイルでいい方向に調整いただくとよいと思う。

（3）野洲市教育振興基本計画第3期（案）について

- ・各施策の実施状況を点検・評価し、課題や今後の改善方法をPDC Aサイクルにより明らかにし、その結果を施策の展開に反映させながら、効果的かつ継続的な推進を図る。

・これからの社会は循環型社会になっていく。やったこと・成果を次の世代に返していき、地域に役立つ子どもを育てていく。一つの事業について住民とともに取り組んでいく「参画型」とする考え方がこれからの行政には必要だと思う。

・具体的に実施するにあたり、市民であったり保護者であったり、主体的となる人をどう巻き込んでいくのか、その仕組みを作らないと、結果色々なものが濫立するだけとなってしまい、形骸化されてしまう。

・PDCAサイクルの中で現在本当に必要なものは何か、本当にこの形でいいのか、実質変更的なものを作り出すのはどう変更させていけばいいのかを考えなければならないと思う。

#### (4) 野洲市社会教育委員の在り方について

・生涯学習社会をつないでいく役割を担っていると認識し「行動できる社会教育委員」として主体的に行動することが求められる。地域における様々な肩書や立場を踏まえつつ、第3期教育振興基本計画（案）の中で我々社会教育委員ができること、どんなスタイルでやっていくのかを考えていく。

・行政や地域で様々な活動が行われている状態で、それらをマッチさせ、コーディネートする役割が社会教育委員に求められている。「できるところからやる」の意識で、課題を整理するだけでも十分な効果がある。

・自分の暮らしや活動を通して色々なところにネットワークやアンテナを張ることができるというのはすごく大事だと思う。最近はPTAさんからの相談も多く、子どもたちと高齢者間の年代的なギャップだとか、スクールガードさんに保護者からの感謝の気持ちを伝える場がなくて悩んでいるという内容のものがある。

・学ぶことはできても、学んだことを伝えるのは難しい。スポーツ協会と中体連がもっと密接に関われば、部活動がもっと活発になるのではという意見もある。

・高齢化の問題で、住んでいる地域の高齢化率が著しい。若い世代もいる一方、子どもたちに向けた目が少なくなっている。

・社会教育委員としての調査や研究とかをやろうとすると、とても大きな労力が必要。地域の人たちは、そういう風に行動できる人たちばかりではない。社会教育委員として最初から何かを計画したりするのは難しいと思う。生涯学習という言葉はあっても、意味を理解していない。課題自体が漠然としていて皆問題意識を持っていない状況でどうすればいいのか。

・環境面の話だが、住みよい地域・助け合える地域として十数年市民活動団体として活動している。小学校の社会の授業に入らせていただいて、ごみの分別の講座とか、助け合える地域とはどういうものか、子どもたちとの対話の中で考える機会を設けている。

#### その他連絡事項

##### (1) 令和3年度滋賀県社会教育委員連絡協議会について

理事会に高木委員長が参加した旨を報告。

研修会については、リモート参加形式と会場参加を併用し参加可能であることを説明。

##### (2) 令和3年度近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）

コロナウイルス感染症の影響を鑑み、参加見送り。

##### (3) 令和3年度全国社会教育研究大会（石川大会）

コロナウイルス感染症の影響を鑑み、参加見送り。